

発行日：2019年10月10日

担 当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(一般財団法人日本花普及センター)



ジャパンフラワーセレクション2019-2020 ガーデニング部門

夏秋審査会 審査結果の発表



全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」のガーデニング部門では、このたび、夏から秋にかけて花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する夏秋審査会において、26品種の審査を実施しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

なお、これらの中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。

【実施概要】

■審査会日時:

夏秋審査会 2019年6月18日（火）
7月30日（火）
9月10日（火）

■開催場所:

千葉大学環境健康フィールド科学センター
(千葉県柏市)

■審査品種:

ガーデニング部門 夏秋審査対象26品種

■入賞品種: 22品種（他、秋審査まで継続3品種あり）



【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

山本 岳史 豊明花き(株) 企画本部外商部次長（部門長）
尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役
杉井 志織 はなぐみ 代表
村上 智弘 (株)フラワーオークションジャパン 鉢物部 部長
山口 まり (一社)日本ハンギングバスケット協会 理事
渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 教授



<ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局>

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ : <http://www.jf-selections.net>



＜ジャパンフラワーセレクションとは＞

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。

審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

＜JFS受賞マークについて＞



このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

＜JFS2020 冬春審査会 出品募集中！＞

審査会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター
（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録をつけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

■JFS出品対象品種

- ① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種
- ② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの（海外で育種されたものも含む）
- ③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

- ① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者
- ② 契約により日本における販売代理権を持つ者
（海外で育成された品種も出品可能）

■出品料についてのお知らせ

JFS2020 から出品料と減免対象者の変更を予定しています。決定となるのは2019年末頃となります。決定次第、HPなどで速やかに公開いたします。ご迷惑おかけしますがよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

ポット苗の
ご出品はこちらへ！



▲審査会場（露地花壇・屋根付き施設）の様子

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデンの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイト特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しみさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

ペチュニア「バカラiQ ストロベリー」株式会社 サカタのタネ



5/24撮影

出品者：株式会社 サカタのタネ（神奈川県）
 ホームページ：<http://www.sakataseed.co.jp/>
 育成者：鳥居 昭宏
 審査講評：連続開花性と耐環境性に優れ、株がよくまとまり、種子系としてこの上ないパフォーマンスは栄養系と比べても遜色がない。市場での流通時期が3月からと早目で、今回の栽培観察でも3月上旬に定植し、5月の中下旬には美しく咲きそろった。

雨後の回復力に優れているという点も確認したが、悪天候下で多少株が倒れたり割れたりしても株元が枯れ上がることがなく、株元から新芽が数多く出てくるおかげで、ピンチ後の回復も早い。信頼できる品種。

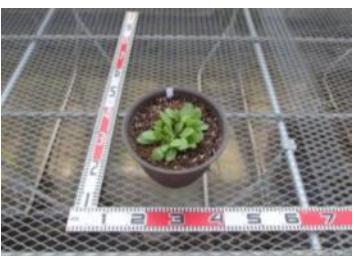
インパクトがある花色で、花がらが目立たないのも好印象である。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



5/24撮影



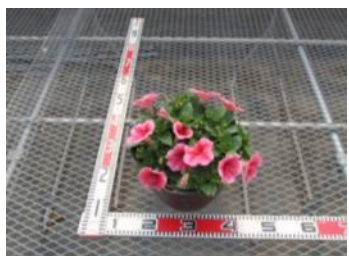
5/24撮影



▲2019/3/15（定植後3日）



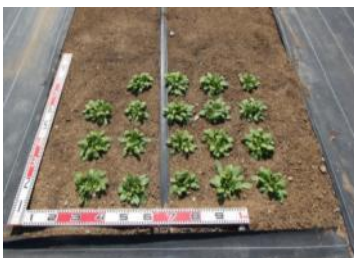
▲2019/4/1（定植後20日）



▲2019/4/16（定植後35日）



▲2019/5/21（定植後70日）



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/5/20（定植後69日）



▲2019/7/8（定植後118日）



▲2019/7/26（定植後136日）

*6/24切り戻し

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

カリブラコア 「ミリオンベル イエロー」 サントリーフラワーズ株式会社



7/30撮影

出品者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLLOWER>

育成者：金谷 健至、村上 保之

審査講評：生育旺盛で名高い「ミリオンベルシリーズ」のなかでも、本品種は特筆すべきパフォーマンスを見せ、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

花色は元気が出る鮮黄色。定植してから花壇としてみられるようになるスピードも申し分ない。

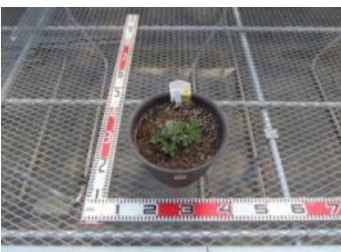
連続開花性に優れ、ピンチ無しでもよくまとまって草姿が乱れず、花つきのバランスが劣らないのも、本シリーズのなかではトップクラス。適度な動きもあるので、花壇だけでなくコンテナガーデン、ハンギングバスケットにも勧めたい。



7/30撮影



7/30撮影



▲2019/4/16（定植後7日）



▲2019/6/10（定植後62日）



▲2019/6/24（定植後76日）



▲2019/7/23（定植後105日）



▲2019/4/15（定植後6日）



▲2019/5/27（定植後48日）



▲2019/6/25（定植後77日）

*6/24切り戻し



▲2019/7/26（定植後108日）

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

カリブラコア 「ミリオンベル チェリーピンク」 サントリーフラワーズ株式会社



出品者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLOWER>

育成者：金谷 健至

審査講評：「ミリオンベルシリーズ」の特性を受け継ぎ、生育旺盛で素晴らしいパフォーマンスで、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

シリーズのなかでも大輪で、見ごたえがある。花色は眩しいほどの発色で、花がらが目立たず、ホームユース以外に公共の植栽にも向く。やや立性のためボリュームがあり、ピンチ無しでもよくまとまっている。同じシリーズの「ミリオンベル イエロー」との違いをユーザーにご案内できると、用途の差別化に役立つだろう。



▲2019/4/16（定植後7日）

▲2019/6/10（定植後62日）

▲2019/7/12（定植後94日）

▲2019/7/23（定植後105日）



▲2019/4/15（定植後6日）

▲2019/5/27（定植後48日）

▲2019/7/8（定植後90日）

▲2019/7/26（定植後108日）

*6/24切り戻し

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

バーベナ「虹色あられ ピンクバイカラー」松原園芸



7/30撮影

出品者：松原園芸(群馬県)

ホームページ：

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者：松原園芸

審査講評：ポップな花色、大輪タイプの存在感がとてもよい。人気のバイカラーのなかでも花つきがよいように見える。よくまとまった草姿のバランスのよさは、他社の類似品種と比べてもトップクラスで、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

立性の草姿は、花壇だけでなく、コンテナガーデン、ハンギングバスケットにも使いやすそう。株元の傷みも少なく、安心して使える品種。



7/30撮影



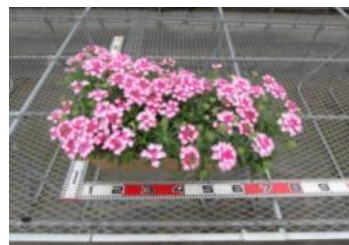
7/30撮影



▲2019/4/19（定植後2日）



▲2019/5/21（定植後42日）



▲2019/6/10（定植後62日）



▲2019/7/12（定植後94日）



▲2019/4/19（定植後2日）



▲2019/6/25（定植後79日）



▲2019/7/8（定植後92日）



▲2019/7/26（定植後110日）

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

トレニア「スーパートレニア カタリーナ ピンクリバー」株式会社ハクサン



出品者：株式会社ハクサン（愛知県）
ホームページ：www.hakusan1.co.jp
育成者：鈴木美国
審査講評：多花性で、咲き始めと咲き終わりの花色のグラデーションが魅力的。耐暑性、連続開花性に優れ、耐暑性に劣る従来印象が覆った。1株で十分なボリュームが出るので、グラウンドカバーにすると雑草を抑えられるだろう。用途の提案ができれば利用の幅の拡がり期待できる。

「ピンクリバー」の名前ではあるが、夏の直射日光下ではやや青みのピンクに見える。鮮やかなピンク色とは違うが、主張の強くない軽やかなピンク色は、他の花との組み合わせもしやすい。

ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



7/30撮影



7/30撮影



▲2019/6/10（定植後13日）



▲2019/6/24（定植後27日）



▲2019/8/5（定植後69日）



▲2019/9/3（定植後98日）



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/6/25（定植後28日）



▲2019/7/8（定植後41日）



▲2019/8/6（定植後70日）

グッドパフォーマンス特別賞

ペチュニア「バカラiQ オーシャン」 株式会社 サカタのタネ



5/24撮影

出品者：株式会社 サカタのタネ（神奈川県）
ホームページ：<http://www.sakataseed.co.jp/>
育成者：鳥居 昭宏

審査講評： 同バカラiQシリーズの「ストロベリー」と同じく、連続開花性と耐環境性に優れ、株がよくまとまり、種子系としてはこの上ないパフォーマンス。栄養系と比べても遜色がない。「ストロベリー」に比べ、やや横に広がる草姿で、動きを感じられて良いとする評価もあった。

市場での流通時期が3月からと早目で、今回の栽培観察でも3月上旬に定植し、5月の中下旬には美しく咲きそろった。

雨後の回復も「ストロベリー」よりはほんの少し劣るという評価だったが、悪天候下でも枯れ上がることがなく、株元から新芽が数多く出てくることは同様に評価でき、信頼できる品種。

夏に誰にでも好まれるブルー系でこれだけの丈夫さは貴重。花がらも目立たない。

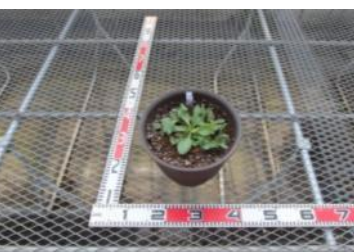
グッドパフォーマンス特別賞を受賞。



5/24撮影



5/24撮影



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/4/1（定植後20日）



▲2019/4/16（定植後35日）



▲2019/5/21（定植後70日）



▲2019/3/15（定植後3日）



▲2019/5/20（定植後69日）



▲2019/7/8（定植後118日）



▲2019/7/26（定植後136日）

*6/24切り戻し

カラークリエイト特別賞

カリブラコア 「ミリオンベル オレンジ」 サントリーフラワーズ株式会社



6/18撮影

品目名 : カリブラコア
 品種名 : ミリオンベル オレンジ
 出品者 : サントリーフラワーズ株式会社
 (東京都)

ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 金谷 健至、山田 将弘
 審査講評 :

生育旺盛で名高い「ミリオンベルシリーズ」のなかでも、本品種のオレンジ色の濁りの無い鮮やかな色は高い評価を受けた。夏の暑い時期に色褪せしないビタミンカラーのオレンジ色は好印象。ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞。

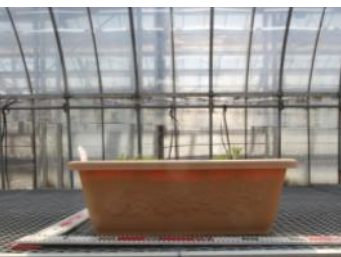
連続開花性に優れ、コンパクトながら花上がりがよく、花の密度が高い。まとまりの良い株はハンギングバスケットにも使いやすく、お薦めできる。



6/18撮影



5/24撮影



▲2019/4/16 (定植後7日)



▲2019/6/10 (定植後62日)



▲2019/7/12 (定植後94日)



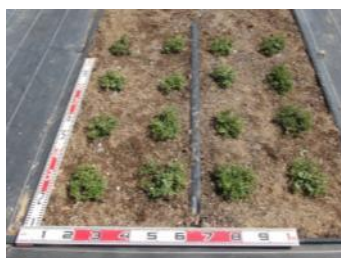
▲2019/7/23 (定植後105日)



▲2019/4/15 (定植後6日)



▲2019/5/27 (定植後48日)



▲2019/6/25 (定植後77日)



▲2019/7/26 (定植後108日)

*6/24切り戻し

グッドパフォーマンス特別賞

カリブラコア 「ミリオンベル ピンク」 サントリーフラワーズ株式会社



5/24撮影

出品者：サントリーフラワーズ株式会社
(東京都)

ホームページ：<http://suntory.jp/FLLOWER>

育成者：金谷 健至

審査講評：生育旺盛で名高い「ミリオンベルシリーズ」の中でも匍匐タイプの中小輪。生育旺盛で、連続開花性もあり、グッドパフォーマンス特別賞を受賞。

色の新規性があるとは言えないが、シリーズ内の色バリエーションとして、ユーザーが自分の好みで色を選んでも失敗が少ないと言う良さがある。

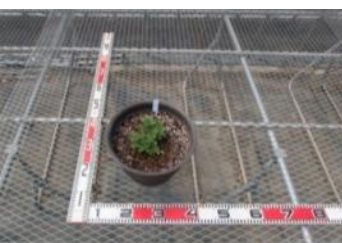
ピンチ無しでもよくまとまって草姿が乱れず、コンテナガーデン、ハンギングバスケットにも勧めたい。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



5/24撮影



7/30撮影



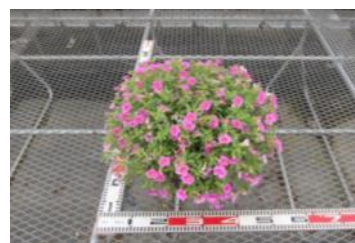
▲2019/4/16 (定植後7日)



▲2019/6/10 (定植後62日)



▲2019/7/12 (定植後94日)



▲2019/7/23 (定植後105日)



▲2019/4/15 (定植後6日)



▲2019/5/27 (定植後48日)



▲2019/7/8 (定植後90日)



▲2019/7/26 (定植後108日)

*6/24切り戻し

モーストジョイ特別賞

ペチュニア「ヴァンサンカン さくらヴェール」 松原園芸



5/14撮影

出品者：松原園芸(群馬県)

ホームページ：

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者：松原園芸

審査講評：立体的な美しい花形の八重咲き品種で、日本人好みのやさしいピンク色。花形が崩れず、葉色も美しい。

露地花壇においては梅雨時期の耐環境性という点で少し弱さを見せ、株の伸びに対して花のつき方がややさみしかった。雨よけ施設内のほうが生育が良好で、ピンチ後の株の復活は早い。

スタートダッシュはよく、5~6月はぐんぐん育ち7月頃までは楽しめる。

花壇より手元近くに置いて楽しむタイプとして紹介し販売するとよいだろう。

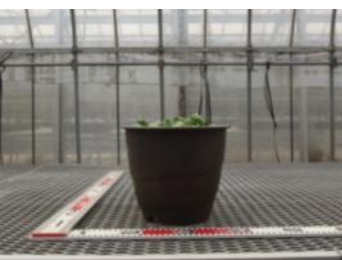
モーストジョイ特別賞受賞。



9/10撮影



9/10撮影



▲2019/4/19 (定植後2日)



▲2019/5/21 (定植後42日)



▲2019/6/10 (定植後62日)



▲2019/6/24 (定植後76日)



▲2019/4/19 (定植後2日)



▲2019/5/28 (定植後51日)



▲2019/6/17 (定植後71日)



▲2019/6/28 (定植後82日)

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「クイーンエリーゼ#977」 株式会社ゲブラナガトヨ



6/18撮影

出品者：株式会社ゲブラナガトヨ（茨城県）

ホームページ：<http://www.poinsettia.co.jp/>

育成者：荒井 芳夫

審査講評：バイカラーでセミダブルの個性的な花。淡い黄色から淡いピンク色への色の変化も面白い。他の植物との色合わせを楽しめそう。

マット状に広がる草姿。どちらかと言うと容器栽培に向いている。デリケートな色の変化は、花壇で遠景から楽しむというより、軒下での栽培や小さいスペースでの植栽にも向いていると言える。コンパクトな株でも花上がりは良い。

カラークリエイト特別賞を受賞。



7/12撮影



6/18撮影



▲2019/5/28（定植後0日）

▲2019/6/11（定植後14日）

▲2019/6/24（定植後27日）

▲2019/7/12（定植後45日）



▲2019/5/28（定植後0日）

▲2019/6/11（定植後14日）

▲2019/6/25（定植後28日）

▲2019/7/（定植後82日）

グッドパフォーマンス特別賞

アメリカフヨウ「タイタンピカス イカロス」

株式会社 赤塚植物園



7/30撮影

出品者：株式会社赤塚植物園（三重県）

ホームページ：<http://www.jp-akatsuka.co.jp>

育成者：倉林 雪夫

審査講評：鮮赤色の花色が人目をひく。

午後まで開花が続く上、草丈が1mほどのショートタイプで、従来のタイタンピカスシリーズの中での差別化が図れる。

分枝位置が低いため、大きな花が下部につき、花が子供にも良く見える位置に咲くのが長所。良く分枝するが、大きくなりすぎないので、一般の家庭用としておすすめ。

シリーズ内に多くの品種が揃ってきたが、ショートタイプのストロングポイントが分かりやすく、大きすぎないというパフォーマンスがよく出ている。

グッドパフォーマンス特別賞を受賞。



7/30撮影



7/30撮影



▲2019/6/11（定植後49日）



▲2019/7/9（定植後77日）



▲2019/7/23（定植後91日）



▲2019/6/11（定植後49日）



▲2019/7/8（定植後76日）



▲2019/7/22（定植後90日）

グッドパフォーマンス特別賞

ユーフォルビア「グラマー インプ」 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ



9/10撮影

出品者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp/>

育成者：Ball Seed

審査講評：苞までの茎の長さがあり、のびやかな印象のあるユーフォルビア。透明感を感じる白さ、柔らかな雰囲気があり、単体でも他の植物との組み合わせでもよく、用途が広い。

連続開花性があり、草姿の乱れもあまりなく、強健。台風の大風の後もダメージがあまり見られなかった。1株で植栽した時の丸くバランス良い草姿も、群植して遠景から見た「霞」のような姿のどちらにも魅力がある。

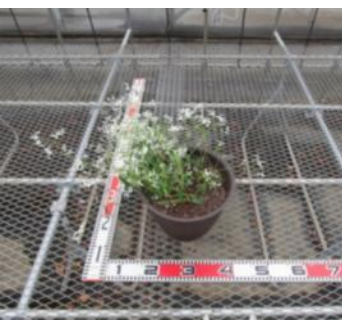
扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞。



6/18撮影



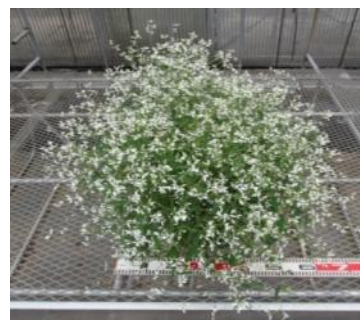
9/10撮影



▲2019/5/28 (定植後0日)



▲2019/6/24 (定植後27日)



▲2019/7/23 (定植後56日)



▲2019/9/2 (定植後100日)



▲2019/5/28 (定植後0日)



▲2019/6/25 (定植後28日)



▲2019/8/6 (定植後70日)



▲2019/9/3 (定植後101日)

グッドパフォーマンス特別賞

ポーチュラカ 「マジカルミステリー」

株式会社ゲブラナगतヨ



7/30撮影

出品者：株式会社ゲブラナगतヨ（茨城県）
ホームページ：<http://www.poinsettia.co.jp/>
育成者：荒井 芳夫
審査講評：株張りがよく大輪で見ごたえのあるポーチュラカ。鮮やかな色彩は夏の花壇で目を惹く。

定植後1月程は、株は伸びるがあまり花がつかず、スロースターターのような印象があったが、梅雨明けから盛夏にかけてぐんぐんと育ち、分枝の良さからボリュームを増した。1株で植えると株の中心部の花が抜けてしまったが、群植すれば目立たず、迫力も増す。株元の枯れ上がりもなく、強健。

耐環境性、連続開花性がありメンテナンスもほぼ不要で夏の花壇で活躍しそう。グッドパフォーマンス特別賞を受賞。



7/30撮影



7/30撮影



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/7/12（定植後45日）



▲2019/7/23（定植後56日）



▲2019/9/3（定植後98日）



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/6/17（定植後20日）



▲2019/7/8（定植後41日）



▲2019/7/26（定植後59日）

グッドパフォーマンス特別賞

ポーチュラカ 「マジカルハート」 株式会社ゲブラナガトヨ



7/30撮影

出品者：株式会社ゲブラナガトヨ（茨城県）

ホームページ：<http://www.poinsettia.co.jp/>

育成者：荒井 芳夫

審査講評：株張りがよく大輪で見ごたえのあるポーチュラカ。「マジカルハート」の名前はハート型に見える花型から。「マジカルミステリー」同様、濁りの無いクリアな黄色は、夏の花壇で目を惹く。

定植後1か月程は、株は伸びるがあまり花がつかず、ゆっくりと育つ。梅雨明けから盛夏にかけてぐんぐんと育った。「マジカルミステリー」より分枝がやや少なく、どちらかというとも茎が伸びる印象。1株で植えると株の中心部の花が抜けてしまったが、群植すれば目立たず、迫力も増す。株元の枯れ上がりもなく、強健。開花時間も長い。

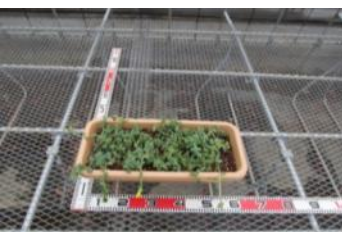
耐環境性、連続開花性がありメンテナンスもほぼ不要で夏の花壇で活躍しそう。グッドパフォーマンス特別賞を受賞。



7/30撮影



7/30撮影



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/7/12（定植後45日）



▲2019/7/23（定植後56日）



▲2019/9/3（定植後98日）



▲2019/5/28（定植後0日）



▲2019/7/8（定植後41日）



▲2019/7/26（定植後59日）



▲2019/9/2（定植後97日）

入賞



5/24撮影

品目名 : ペチュニア
 品種名 : バカラIQ ピンク
 出品者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp/>
 育成者 : 鳥居 昭宏
 審査講評 :

耐雨性、連続開花性に優れ、華やかな花色が目にと留まる。パフォーマンスは、これまでの種子系「バカラシリーズ」と同レベルと見られる。ただし、今回の「バカラIQシリーズ」のほかの2品種（「バカラIQ ストロベリー」「バカラIQ オーシャン」）と比べると、株元の抜け具合など、ピンチ後の株傷みがやや気になった。



▲2019/3/15 (定植後3日)

▲2019/5/20 (定植後69日)

▲2019/7/8 (定植後118日)

▲2019/7/26 (定植後136日)

*6/24切り戻し



5/24撮影

品目名 : カリブラコア
 品種名 : ミリオンベル ピーチキャンディ
 出品者 : サントリーフラワーズ株式会社 (東京都)
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>
 育成者 : 山田 将弘
 審査講評 :

「ミリオンベルシリーズ」の特性をしっかりと受け継ぎ、生育旺盛で素晴らしいパフォーマンス。シリーズのなかでは、やや節間が長く立ち上がる草姿。連続開花性に富み、ピンチ無しでも株がまとまるが、切り戻し後の状態はさらによい。花卉と喉の部分の花色のコントラストに新規性があり面白い。



▲2019/4/15 (定植後6日)

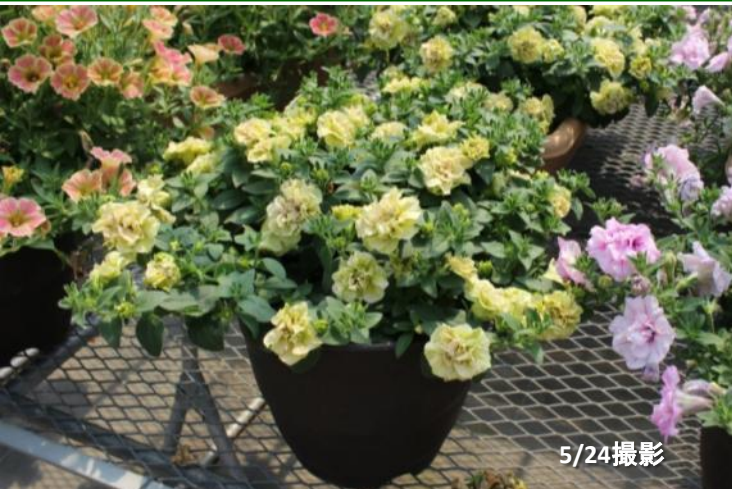
▲2019/5/27 (定植後48日)

▲2019/7/8 (定植後90日)

▲2019/7/26 (定植後108日)

*6/24切り戻し

入賞



5/24撮影

品目名 : ペチュニア
 品種名 : ヴァンサンカン 緑のヴェール
 出品者 : 松原園芸(群馬県)
 ホームページ :

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

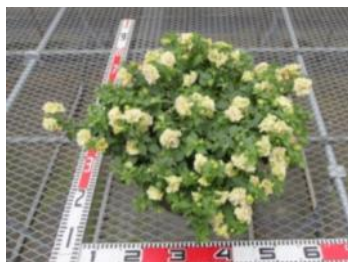
育成者 : 松原園芸

審査講評 :

花形が崩れないライムグリーンの花はシック。咲き進んだ際の黄色がかった花がらが目立つ。丁寧に手入れをする必要があるだろう。株張り、分枝ともによく、生育良好で株のまとまりもよい。雨よけ施設内のほうが生育が良好で、ピンチ後の復活は早い。花数はやや少なめ。大きな花壇より手元近くに置いて楽しむタップとして紹介し販売するとよいだろう。



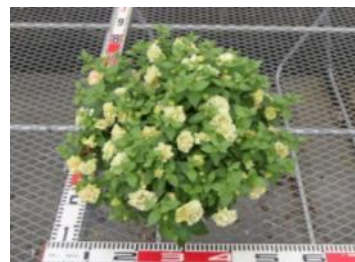
▲2019/4/19 (定植後2日)



▲2019/6/10 (定植後62日)



▲2019/7/12 (定植後94日)



▲2019/7/23 (定植後105日)

*6/24切り戻し



6/18撮影

品目名 : ペチュニア
 品種名 : プアトルテシリーズ
 プレミアムカラー ポメロ (仮)

出品者 : 花日和(埼玉県)

育成者 : 川上 竜一

審査講評 :

ありそうでなかった、かわいらしいシックな花色の中輪タイプ。生育旺盛で連続開花性に優れ、多花性だが花がらが目立たないのがよい。カーペット状に育つという特性がよく出ていて、花壇の植栽では立体感も期待できる。耐暑性はあるとのことだが、梅雨の長雨で傷んだことから、耐湿性にやや劣る様子が見られた。4~6月の短期間で一気に仕上げたい花壇には向く。



▲2019/4/19 (定植後2日)



▲2019/5/27 (定植後50日)



▲2019/6/28 (定植後82日)

*6/24切り戻し



入賞



7/30撮影

品目名 : アメリカフヨウ
 品種名 : タイタンビカス フレア
 出品者 : 株式会社赤塚植物園 (三重県)
 ホームページ : <http://www.jp-akatsuka.co.jp>
 育成者 : 倉林 雪夫
 審査講評 :

深紅色の花色が人目をひき、夕方まで開花が続く。「タイタン イカロス」に比べて分枝が少なく、花数にもやや物足りなさを感じた。従来の「タイタンシリーズ」との差別化がわかりにくかった。タイタンビカスシリーズのラインナップが揃ってきただけに、消費者にわかりやすく、選べる楽しさを感じられるような販売時の工夫があると良いだろう。



▲2019/6/11 (定植後49日)



▲2019/7/8 (定植後76日)



▲2019/9/3 (定植後133日)



7/30撮影

品目名 : バーベナ
 品種名 : エンデュラスケープ ピンクフィズ
 出品者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
 ホームページ : <http://www.mbflora.co.jp/>
 育成者 : Ball Seed
 審査講評 :

大きな穂になるサーモンピンク系の花色の濃淡に、変化があって見ごたえがある。連続開花性に優れるにも関わらず、花がらが目立たないのも長所。株張りがコンパクトにまとまる割に、花数も十分。伸びやかな草姿は、コンテナガーデンにも向くだろう。暑さにも比較的強く、下葉が傷まずに、しっかり茂っているのがよい。



▲2019/5/28 (定植後0日)



▲2019/6/17 (定植後20日)



▲2019/6/25 (定植後28日)



▲2019/7/26 (定植後59日)

入賞



7/30撮影

品目名 : バーベナ
 品種名 : キャデット ラベンダーブルー
 出品者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)

ホームページ : <http://www.mbflora.co.jp/>

育成者 : Ball Seed

審査講評 :

連続開花性に富み、常に鮮やかなパフォーマン
 スが期待できる。夏の花壇で幅広い層に好まれる
 爽やかなラベンダーの花色。開花後、時間の経過
 による花色の褪色がみられた。葉色は美しく、花
 とのコントラストも見映えがする。株張りはよい
 が、ややばらつきが気になる。うどんこ病耐性が
 あるようだが、高温多湿条件下では、立ち枯れが
 目立った。



▲2019/5/28 (定植後0日)



▲2019/6/17 (定植後20日)



▲2019/6/25 (定植後28日)



▲2019/7/26 (定植後59日)



7/30撮影

品目名 : サルビア
 品種名 : スーパーサルビア
 ロックンロール ピンクスパイダー

出品者 : 株式会社ハクサン(愛知県)

ホームページ : www.hakusan1.co.jp

育成者 : Plant21

育成者権者 : J&H Japan

審査講評 :

花色と海老茶色の苞のコントラストが美しい。
 連続開花性に優れ、9月中旬でも花つきに陰りが
 見えないが、花色が濃くなりピンク色の印象がや
 や減った。コンパクトながらよく分枝するうえ、
 株が密に茂り過ぎず動きがあり、花の高さが揃う
 のがよい。デザインがしやすそうで、花壇の植栽
 に勧めたい。力強い葉色と花色の対比も好印象。



▲2019/5/28 (定植後0日)



▲2019/6/25 (定植後28日)



▲2019/7/26 (定植後59日)



▲2019/9/3 (定植後98日)

ジャパンフラワーセレクション(JFS)秋審査会出品募集中！

「切花部門」11月4日(月・祝) / 「鉢物部門」11月18日(月)

JFS「秋審査会」が東京大田市場内で開催されます。

(審査会後は大田市場花き部内中央通路付近に展示されます)

秋審査会は、「フラワー・オブ・ザ・イヤー2019」の選考の対象となる最後のチャンスです！

1.切花部門：審査日11月4日(月/祝)

出品締切日：2019年10月28日(月)

審査会場：大田市場花き部内

(株)大田花き

住所：東京都大田区東海2丁目2-1

2.鉢物部門：審査日11月18日(月)

出品締切日：2019年11月11日(月)

審査会場：大田市場花き部内

(株)フラワーオークションジャパン

住所：東京都大田区東海2丁目2-1

■出品申し込み方法

①「出品申請書」(別添2枚つづり)

②「花材出荷通知書」(別添1枚)をメールまたはファックスでお送りください。

出品申請書受領後に事務局より「搬入方法のご案内」についてのご連絡を致します。

出品申請書のエクセル様式の請求・送付先ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(日本花普及センター内)

TEL：03-3664-8739 FAX：03-3664-8743 E-mail：jfpc@jfpc.or.jp

■出品料

出品料は審査会終了後にご請求書を郵送いたします。

審査会	通常料金	特別価格(※)
秋審査会 (切花・鉢物部門)	5,000円 (税込5,400円)	2,500円 (税込2,700円)

(※)特別価格の適用は、以下の①②の条件に該当する方です。(一部内容が2015年4月1日から変わりました)

①(一財)日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A(都道府県、各種団体、企業、協同組合)もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

②全国新品種育成者の会の会員

■参加基準数量(審査時の花材の数量)

輸送による傷みなども考慮して、なるべく予備も搬入してください。ご不明点は、事務局までご相談ください。

切花部門	基準数量	鉢物部門	基準数量
バラ、トルコギキョウなどの一般的なサイズの花	10~15本	4号鉢未満	3~4鉢
アジサイ、ユリなど大型の花	5本~	4号鉢~7号鉢	2~3鉢
		8号鉢以上	1~2鉢

■JFS出品対象品種

- ①日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種
- ②日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの(海外で育種されたものも含む)
- ③種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

- ①品種を育種開発した者
- ②品種の育成者権(同品種を業として扱う権利)を持つ者
- ③前二者のどちらかとの契約により日本における販売代理権を持つ者

ジャパンフラワーセレクションのお問い合わせは一般財団法人日本花普及センターまで
E-Mail jfpc@jfpc.or.jp

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目6番17号山一ビル4階
TEL：03-3664-8739/FAX：03-3664-8743

出品申請書もジャパンセレクションのホームページからダウンロードできます。

<http://www.jf-selections.net/>



**ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準。」
ジャパンフラワーセレクション。**